

140 ノゼマ病〔届〕

担当	検 査 チ ャ ー ト
家畜保健衛生所	(1) 疫学調査 (2) 臨床検査 (消化管) (3) 簡易寄生虫検査 (+) (-)
病性鑑定施設	
判定・結果	(+) (-)
最終判定	疫学調査、臨床検査の結果を基に簡易寄生虫検査の結果により本病とする。
その他	

○ 病原体: *Nosema apis*

(1) 疫学調査

- ① 早春に発生
- ② 越冬期間の長い寒冷地ほど発生が多い。
- ③ 成蜂(働き蜂、雄蜂、女王蜂)のみが罹病
- ④ 新しい蜂の導入

(3) 簡易寄生虫検査

病蜂の消化管(主として中腸)の塗抹ギムザ染色
標本を鏡検し、胞子を検出する。

(2) 臨床検査

- ① 巣箱内や出入口、巣枠上部の異常蜂や飛翔力のない蜂の増加
- ② 糞づまりのため腹部膨満
- ③ 体表面異常(体全体が油で濡れたような状態)
- ④ 中腸膨満と表面の横縞消失
- ⑤ 寿命短縮